

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2021年 4～6月期の景況 / 2021年 7～9月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、厳しい見方が続く。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2021年4～6月期の実績と2021年7～9月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から11.6%の回復となった。業種別では、サービス業は▲56.0%から▲34.5%へ、卸売業は▲15.0%から4.8%へ、製造業は▲36.8%から▲18.2%へと大幅に回復、小売業は▲16.7%から▲5.3%への回復がみられた。また、建設業は▲17.9%から▲24.1%へと悪化した。

来期の新規設備投資については、今期より7.4%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業は20期連続で「従業員の確保難」が1位となり、他業種でも上位を占めている。なお、製造業では7期連続で「需要の停滞」が1位となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

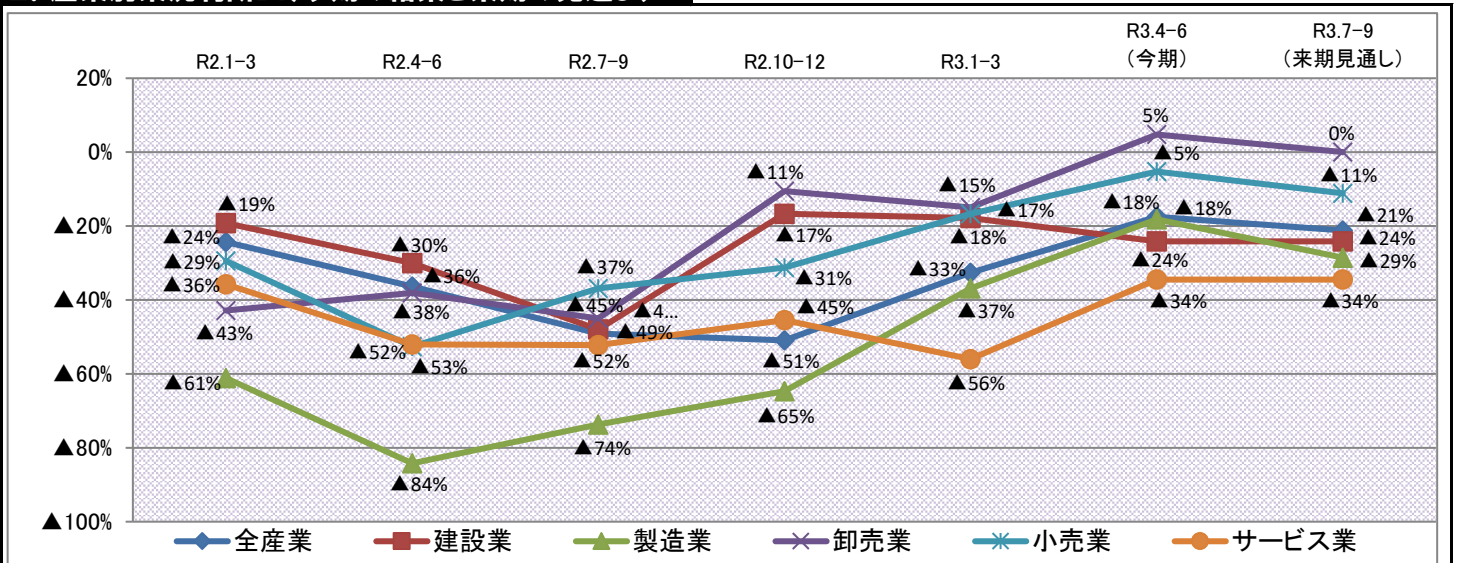
DATA

- 調査期間：2021年6月15日～6月25日
- 調査対象：宇部市内の中小企業135社
- 有効回答企業数：122社(90.4%)

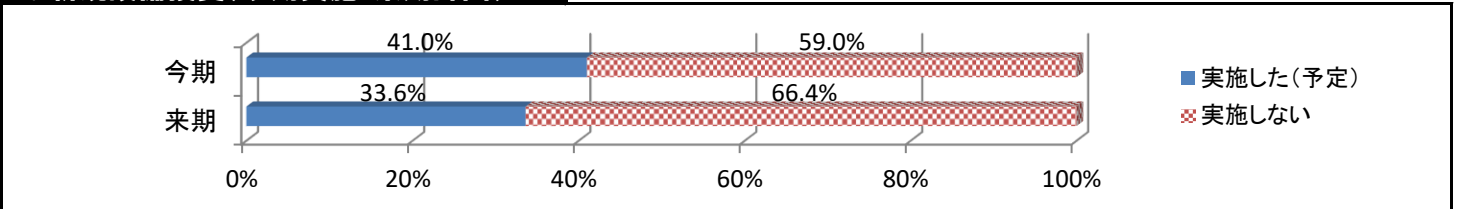
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲17.5%	11.6%	▲5.8%	25.4%	▲10.0%	2.5%	▲9.2%	11.7%	▲0.8%	▲18.4%
建設業	▲24.1%	▲6.3%	▲37.9%	0.0%	▲6.9%	6.9%	▲17.2%	▲13.7%	0.0%	▲17.2%
製造業	▲18.2%	18.7%	▲4.5%	32.3%	▲33.3%	▲22.8%	▲9.5%	46.0%	4.5%	▲21.8%
卸売業	4.8%	19.8%	0.0%	10.0%	4.8%	▲0.2%	▲4.8%	5.2%	19.0%	▲11.0%
小売業	▲5.3%	11.4%	40.0%	55.8%	5.0%	5.0%	0.0%	▲5.3%	▲5.6%	▲32.2%
サービス業	▲34.5%	21.5%	▲10.7%	37.3%	▲17.2%	18.8%	▲10.3%	33.7%	▲17.2%	▲13.2%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 20.3%	需要の停滞 21.0%	仕入単価の上昇 19.3%	消費者ニーズの変化への対応 16.1%	需要の停滞 26.0%
2位	熟練技術者の確保難 19.0%	原材料価格の上昇 17.7%	従業員の確保難 17.5%	需要の停滞 16.1%	利用者ニーズの変化への対応 19.2%
3位	民間需要の停滞 19.0%	生産設備の不足・老朽化 11.3%	需要の停滞 15.8%	従業員の確保難 10.7%	従業員の確保難 9.6%
4位	官公需要の停滞 13.9%	製品ニーズの変化への対応 9.7%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化 12.3%	人件費の増加 8.9%	熟練従業員の確保難 8.2%